

## 第 4 回野口英世アフリカ賞（医療活動分野） 受賞者功績

### 1. 受賞者（団体）名

ギニア虫症撲滅プログラム

(Guinea Worm Eradication Program (GWEP))

※米カーター・センター (The Carter Center)

主導のアフリカ・パートナーシップ



### 2. 功績

1986 年以降、カーター・センター (The Carter Center) を中心とする世界的な連合体である Guinea Worm Eradication Program (ギニア虫症撲滅プログラム) は、アフリカ諸国の保健省や地域コミュニティと密接に協力しながら、ギニア虫症の患者数を 99.99% 削減することに成功した。

ギニア虫症（メジナ虫症）は、安全な飲料水がないことに関連する寄生虫感染症で、最も貧しい地域の人々が主に罹患し、長期に渡って身体が不自由になる。ギニア虫 (*Dracunculus medinensis*) の幼虫を体内に取り込んだミジンコで汚染された飲み水が人の体内に入ることによって発症する。成熟したメスのギニア虫が皮膚に激痛を伴う病変を作り、ゆっくりと体外に出てゆく。感染者が焼けつくような痛みから解放されようと病変部を水に浸すと、ギニア虫がその幼虫を水に放出して水が汚染される。



1986 年には、年間およそ 350 万人がアフリカ 19 カ国とアジア 2 カ国でギニア虫症に感染し、約 1 億 2000 万人が感染リスクに曝されていた。ギニア虫症にはワクチンや薬剤による治療法がないため、唯一の可能な対策が人々の教育と行動変容を促す地域に根差した介入である。ギニア虫症撲滅プログラムは、各国の保健省、非政府組織、国や自治体の指導者、政治家、伝統的指導者、村のボランティアと連携して各国で実施されている。フィルターを提供し、飲み水は必ずろ過するように人々に指導している。ボランティアを訓練し、ボランティアが地域コミュニティに予防法を指導し、ギニア虫の兆候を発見し、無料で治療を提供できるようにしている。疑わしい症例がすぐに報告され、封じ込め

ることができるように報奨金も支払われている。

ギニア虫症撲滅プログラムによるこのような継続的な努力の結果、ギニア虫症は現在ではアフリカの最も貧しい地域、最も遠隔の地に限られるようになってきている。カーター・センターによると、2021年1月1日から10月31日までに報告されたギニア虫症の暫定的な症例数はわずか14例に留まっている。このような素晴らしい成果により、ギニア虫症が医学史上、寄生虫感染症では初めて、また全疾患では天然痘に次いで2番目に根絶される疾患になる可能性が出てきている。



### 3. カーター・センターとは

#### (1) 設立時期・目的

- ・世界米和・疫病撲滅・希望構築を目的に、ジミー・カーター元アメリカ合衆国大統領およびその妻ロザリンにより、1982年に設立された。
- ・非営利・非政府組織であるカーター・センターはこれまで80カ国以上の国々で、紛争解決、民主化推進、人権保護、疫病予防、メンタルヘルスケア改善に向け取り組んできた。

(2)カーター・センターでは、1986年に本件プログラムの活動を開始。今回の賞は同プログラムの代表として、担当者が授賞式に出席。

#### (3) 所在地

453 John Lewis Freedom Parkway NE, Atlanta, GA 30307,  
United States of America (米国ジョージア州アトランタ)

電話 : +1 404-904-0214

電子メール : [meagan.martz@cartercenter.org](mailto:meagan.martz@cartercenter.org)

#### (4) 本件プログラムを含め、これまでの主な成果

- ・民主化推進活動において、これまで世界各国100か所以上の選挙運営を監視
- ・中東諸国の平和構築に向けた礎作り
- ・人権保護に関する国際基準強化及び人権活動家保護
- ・アフリカ及び南米諸国で猛威を振るう「顧みられない熱帯病」(ギニア虫症、糸状虫症、トラコーマ、住血吸虫症、象皮病)の予防・管理に向けた新たな公衆衛生アプローチの手本となり、特にアフリカにおいては何千というコミュニティにおいて、村単位での保健介入を実施
- ・メンタルヘルスケア向上及び精神疾患を患う人々に対する偏見や差別の根絶に向けての取り組み

(了)